vinetur

Leroy Musigny Grand CruがWine-Searcherの2026年ランキングで61,596ドルで首位

ブルゴーニュの生産者が10位中9席を占めた。10銘柄をそろえると228,588ドル。

2026年10月1日（木）



Wine-Searcherの2026年版、世界で最も高価なワインのランキングは、ブルゴーニュが依然として高級ワイン市場の頂点を支配していることを示している。フランスの同地域の生産者が10位中9席を占め、ブルゴーニュ以外で入り込んだのは1銘柄だけだった。リストは世界の平均小売価格に基づいており、トップ10の最安値は13,109ドル、最高値は61,596ドル。リストに載る各ワインを1本ずつ購入すると228,588ドルかかる。

首位はブルゴーニュのコート・ド・ニュイにあるLeroy Musigny Grand Cruで、平均小売価格は61,596ドルだった。これは1年前の46,991ドルから31.1%上昇した数字だ。5年ではさらに大きい。5年前は同じワインが28,071ドルで、その間に119.4%値上がりした。

2位はDomaine d’Auvenay Chevalier-Montrachet Grand Cruで24,952ドル。価格は昨年の23,223ドルを7.4%上回るが、5年前の26,350ドルをなお5.3%下回る。3位は同じくd’AuvenayのBâtard-Montrachet Grand Cruで24,048ドルだった。長期では価格上昇がより大きく、5年前の17,101ドルから昨年は25,039ドルまで上がったあと、今年は4%下落した。それでも5年では40.6%高い。

Domaine de la Romanée-Conti Romanée-Conti Grand Cruは24,005ドルで4位。ランキング内の他のいくつかの大きな変動と比べると、価格は比較的安定している。1年前は23,786ドルで0.9%の変化、5年前は22,366ドルで7.3%の上昇だった。

5位はDomaine Leflaive Montrachet Grand Cruで19,691ドルだった。このワインは着実な上昇基調を示しており、5年前の13,673ドルから昨年は17,604ドルへ、今年さらに11.9%上昇した。5年累計の上昇率は44%だ。

6位はDomaine Georges & Christophe Roumier Musigny Grand Cruで17,100ドル。昨年の18,122ドルから5.6%下落したことになるが、5年前の15,967ドルよりはなお7.1%高い。7位は別のLeroy銘柄、Chambertin Grand Cruで16,078ドル。価格は5年前の12,220ドルから昨年は16,221ドルへ上がり、今年は0.9%下落した。それでも5年では31.6%上昇している。

8位はOlivier Bernstein Romanée-Saint-Vivant Grand Cruで14,537ドルだった。このエントリーが目立ったのは、より歴史のある、定着した銘柄に並んでいたことだけでなく、最近の価格変動の大きさでもある。Wine-Searcherのデータによると、1年前は7,125ドルだったため、現在価格は104%高い。長期比較は、これまでにリリースされたヴィンテージが2017年の1本しかないため限られる。Bernsteinは、ランキングで並ぶ多くの生産者と比べればブルゴーニュでは新しい名前で、初ヴィンテージのリリースは2007年だった。

リストでブルゴーニュ以外から入った唯一のワインは9位、ドイツのモーゼル地方のEgon Müller Scharzhofberger Riesling Trockenbeerenauslese だった。平均小売価格は13,472ドルとされた。ランキングの大半のワインと異なり、Wine-Searcherが測定した1年および5年の期間の双方で価値を落としている。昨年は14,057ドル、5年前は15,995ドルで、前年比4.2%安、5年で15.8%安となった。

トップ10の最後の枠はDomaine d’Auvenay Mazis-Chambertin Grand Cruで13,109ドルだった。このワインはランキングの中でも特に大きな上昇を記録している。5年前の8,135ドルから昨年は11,948ドルへ上がり、今年さらに9.7%上昇した。5年累計の上昇率は61.1%だ。

このランキングが注目されるのは、その集中度の高さだ。ブルゴーニュが1銘柄を除くすべてを占め、スタイルも狭い。ピノ・ノワールが6銘柄、シャルドネが3銘柄、甘口リースリングが1銘柄だ。上位の名前は、高級ワイン取引を注意深く追うコレクターや商社にはおおむねなじみがあり、とりわけLeroy、Domaine d’Auvenay、Domaine de la Romanée-Contiがそうだ。

ただし、この小さなグループの中でも価格の動きは一様ではなかった。リスト中の2銘柄は、この5年間で価値を落としている。d’Auvenay Chevalier-MontrachetとEgon MüllerのScharzhofberger Riesling Trockenbeerenauslese だ。直近1年だけを見ると、10銘柄中4銘柄が下落し、6銘柄が上昇した。こうしたまちまちな動きにもかかわらず、各ワインを1本ずつ含む一揃いの合計額は昨年の204,116ドルから今年は228,588ドルへと上昇し、約12%増となった。

Wine-Searcherのランキングはまた、現在生産されているボトルの市場にはきれいに当てはまらないため、リスト外となったいくつかのワインも指摘した。Henri Jayerによる Richebourg Grand CruやCros Parantoux Premier Cruなどのワインは、もし今も生産されていれば、世界でも最も高価な部類に入っていただろう。Jayerは2006年に亡くなっており、彼の名に結びつくボトルは、いまや現在の商業リリースというより希少な歴史的資産のように取引されている。

ランキングの外で言及された別のワインは、Montrachet L'Exceptionnelle Vendange des Sept Domainesで、2016年の深刻な霜害で畑が被害を受けた後に造られた単発のシャルドネだった。Domaine de la Romanée-Conti、Domaine des Comtes Lafon、Domaine Guy Amiot、Domaine Leflaive、Domaine Fleurot-Larose、Domaine Lamy-Pillot、Claudine Petitjeanの7つのモンラッシェ生産者が果実を持ち寄って600本を生産した。その希少性と特異な由来により、ランキングを定義する年次リリースの通常のパターンの外に置かれている。

2026年版リストは、ワイン業界全体が消費低迷と広範な経済的不透明感の圧力に直面している時期に出されたが、データは、最も高額なボトルが再販市場と小売市場で依然として並外れた価値を持ち続けていることを示している。最大の上昇はLeroy Musigny Grand Cruで記録され、1年で31.1%上昇したほか、Olivier Bernstein Romanée-Saint-Vivant Grand Cruは昨年水準の2倍の価格になった。同時に、Roumier Musigny、Leroy Chambertin、Egon MüllerのTrockenbeerenauslese のような銘柄の小幅な下落は、マーケットの頂点にあっても、すべての銘柄が一方向に動くわけではないことを示している。